

佐藤幸恵と輪島明子 ガラス二人展「核光 - ガラスの中心で」のご案内

“アートギャラリーのようでギャラリーではない — A gallery, but not a gallery.”
BIOME（バイオーム）から 2026 年 10 月に開催される展覧会について、ご案内いたします。

展覧会情報

佐藤幸恵と輪島明子 ガラス二人展

「核光 - ガラスの中心で」

会 期：2026 年 10 月 10 日（土）から 11 月 1 日（日）まで

時 間：12:00 - 17:30 最終日のみ 12:00 - 15:00

休廊日は水曜・木曜日となります。

*事前の予告なく内容が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

*最新情報は、BIOME のウェブサイト、Instagram などでご確認ください。

BIOME（バイオーム）

〒658-0047 兵庫県神戸市東灘区御影 2 丁目 6 番 11 号 BIOME 御影 Alcove 1 階

阪急電車 御影駅 南西出口 徒歩 2 分

神戸・御影の BIOME では、2026 年 10 月 10 日（土）から 11 月 1 日（日）まで、ガラス作家の佐藤幸恵氏と輪島明子氏による二人展「核光 - ガラスの中心で」を開催いたします。

佐藤幸恵氏は、「たからもの for おくりもの 2022」、2025 年の「内田亜里（写真）と佐藤幸恵（ガラス）二人展 <にぶくひかる -Dull and glowing->」に続き、1 年ぶりの BIOME での展示となります。

輪島明子氏は、BIOME 初のご紹介です。愛知県出身のガラス作家で、質感と色彩の対話を追求し、自然のエネルギーと人間の感情の交錯をテーマにした作品を多数発表しています。

移転後初となるガラス作品の展覧会は、異なる技法による作品が織りなすガラスの世界をお楽しみいただける内容となります。

佐藤幸恵氏と輪島明子氏のガラス技法の違い

佐藤幸恵氏が主に用いるのは、型のなかでガラスを加熱し、時間をかけて成形するガラス鋳造です。ガラスだけでなく、金属、陶磁、石、化石、繊維など異なる素材も取り入れ、一つの造形へと組み立てています。透明な層の重なりを通して、光と影の関係を探る作家です。

輪島明子氏は、熱して柔らかくなったガラスをその場で成形するホットワークを中心に制作しています。さらに、キルンキャストイングであらかじめ制作したパーツを組み合わせるなど、複数の工程を経て作品をつくります。キルンキャストイングとはガラス鋳造技法の一つで、耐火性の型にガラスを入れ、電気炉（キルン）で加熱して型に沿って成形するものです。

型と焼成を介して形をつくる佐藤氏と、熱したガラスに直接働きかけながら形をつくる輪島氏。同じガラスを扱いながら、作品が形になるまでの時間、制作するときのガラスとの距離などが異なります。

ガラス二人展「核光 - ガラスの中心で」のみどころ

佐藤幸恵氏と輪島明子氏の作品が同じ場所に並ぶことで、ガラスをどう見るか、どこを見るか、見る側の視点も変わってくるかと思います。

光を通すところ、遮るところ。内側に目が向く作品もあれば、まず外形が目に残る作品もあります。色や気泡、層、表面の変化など、同じガラスでありながら、作品によって目にうつる場所は異なります。まずはその違いをご覧くださいいただきたいところです。

また、見る位置を少し変えるだけでも、ガラスの見え方は変わります。重なって見えていたものが離れたり、透明に見えていた部分に別の色が現れたり、内側にある形が思いがけず見えてきたりします。作品そのものは同じ場所にありながら、見る側が動くことで姿が変わる。そのようなおもしろさは、ガラス作品ならではのものです。

佐藤氏は光と空間の透過性を追求し、静謐で詩的な世界を生み出します。輪島氏は素材の重なりや表面の質感に焦点をあて、物質としてのガラスの存在感を際立たせます。一見対照的な二人の作品を行き来しながら、“この作品の中心には何があるのだろうか”と、一点ずつご覧いただきたい。「核光 - ガラスの中心で」は、そのために BIOME が企画したタイトルです。

技法を見る。光を見る。形を見る。中を覗く。
それぞれの作品から、ガラスを見る楽しみを見つけていただくための展覧会となります。ぜひご期待ください。

作家プロフィール

佐藤幸恵 Yukie Satoh

福島県出身、東京都在住

2009 年 筑波大学芸術専門学群構成専攻クラフト領域ガラス分野卒業

2011 年 富山ガラス造形研究所造形科卒業

2012 年 Art Glass Solutions アーティスト・イン・レジデンス / シンガポール

2018 年 平成 30 年度ポーラ美術振興財団在外研修生としてポルトガルにて研修
リスボン大学 Master Glass Art and Science

賞歴

2012 年 「EWAA イーストウエスト芸術大賞」ファイナリスト選出

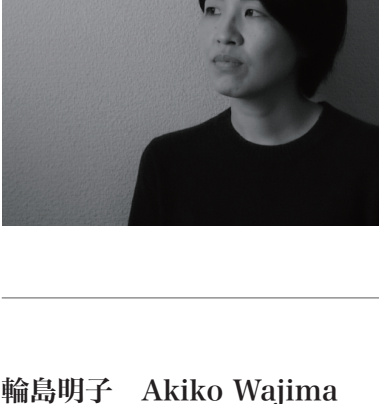
2013 年 「EWAA イーストウエスト芸術大賞」ファイナリスト選出

2014 年 「第 9 回 大黒屋現代アート公募展」入選

2018 年 「ポーラ美術振興財団在外研修員」

2023 年 「神奈川県美術展」入選

<作家画像>



輪島明子 Akiko Wajima

愛知県生まれ、富山県在住

2000 年 静岡大学農学部森林資源科学科 卒業

2003 - 2007 年 ボンホルムガラス陶芸学校ガラス科／デンマーク

2008 - 2011 年 富山ガラス工芸センター スタッフ

2012 年 富山市にアトリエ「Aki-Kos Glass」を構える

受賞歴等

2023 年 池袋アートギャザリング公募展「IAG AWARDS 2023」入選

2022 年 国際ガラス展金沢 入選

2018 年 第 7 回現代ガラス展 in 三陽小野田 入選

2010 年 日本クラフト展 入選

第 49 回富山県美術展 新人賞

国際ガラス展金沢 入選

2012 年 第 5 回現代ガラス展 in 三陽小野田 入選

第 5 回金屋町楽市賞 大賞

2009 年 第 4 回 KOGANEZAKI 器のかたち展 入選

富山県美術展 新人賞

2008 年 ボンベイスファイヤブライズ 入選

富山市美術展 奨励賞

国際ガラス展金沢 入選

<作家画像>



<DM 画像（表）>



<作品画像>



佐藤幸恵作



輪島明子作

以 上

お問い合わせ：

BIOME（バイオーム）

兵庫県神戸市東灘区御影 2 丁目 6 番 11 号

BIOME 御影 Alcove 1 階（〒658-0047）

栗山典

メール：artroom@biomekobe.com

Web：www.biomekobe.com

現在、電話での対応は行っていない。メールにてお問い合わせください。